

令和6年度 小中一貫教育 に関するアンケート調査結果

(回答数 23件)

令和6年度7月22日開催

洞爺湖町教育委員会

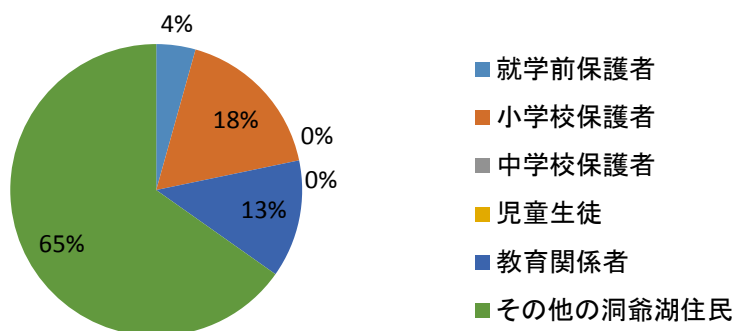
1－1当てはまる区分を選んでください。

【回答者種類】

就学前保護者	1
小学校保護者	4
中学校保護者	0
児童生徒	0
教育関係者	3
その他の洞爺湖住民	15

1－1当てはまる区分を選んでください。

【回答者種類】



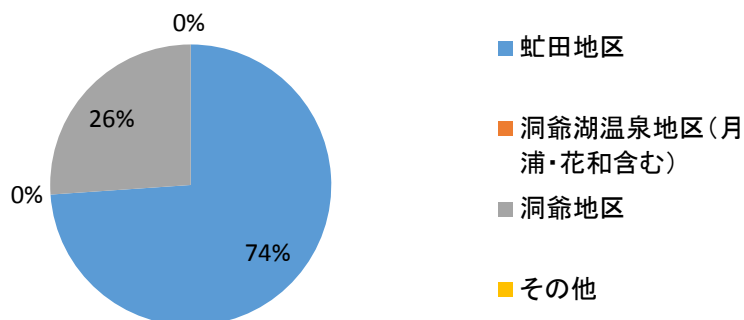
1－2当てはまる区分を選んでください。

【回答者居住地】

虻田地区	17
洞爺湖温泉地区(月浦・花和含む)	0
洞爺地区	6
その他	0

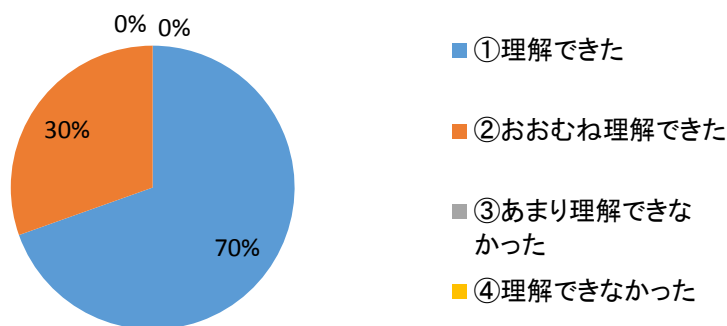
1－2当てはまる区分を選んでください。

【回答者居住地】



2 伊達市立大滝徳舜警学校の取組について理解できましたか。	
①理解できた	16
②おおむね理解できた	7
③あまり理解できなかった	0
④理解できなかった	0

2 伊達市立大滝徳舜警学校の取組について理解 できましたか。



3 義務教育学校の内容や小中一貫教育についての質問や理解できなかった内容があればご記入ください。

- ・高学年と低学年の相互交流は人間形成にとっても大切だと思う。
もちろん地域との交流や世代間交流、外国人との交流も同じだと思う。
- ・期待はしたいが、問題点等はもちろん存在すると思うが、みんなが一体となって作り上げて行ければ良いと考える。
- ・違いがよくわかりました。洞爺湖町は、小中一貫教育ですよね？
- ・メリットがとても多い様に感じた。

4 洞爺湖町で目指す小中一貫教育や、義務教育学校等を導入する場合に、心配される点や期待される点があればご記入ください。一貫教育についての質問や理解できなかった内容があればご記入ください。

・学力向上

・特に小学生の学びの質が、乗り入れにより高くなるが、中学校教員の負担が増え、受験者数が減るのではないかと思います。

・町が小中一貫教育をどの形態でやりたいのかが不透明でわかりにくい

・洞爺小と洞爺中はどうなるのでしょうか？今でも虻田地区と洞爺地区の格差を感じております。虻田小と虻田中で小中一貫教育はスムーズに行くと感じます。温泉小はどうなりますか？現実問題として、具体化していく上でどこまでを考えているのか、町としての見通した案をそろそろ出していきたいと思います。質の高い教育を目指していく上では、小中一貫教育や義務教育学校は必要だと思いますので、期待しています。

・自治体側(洞爺湖町)で十分理解しているのか心配です。やっつけ仕事で現場に丸投げ、予算が無いからと不十分な状態で導入するのではと心配です。

・生徒指導(対応)の一貫性。小学校と中学校の先生では、これまでの生徒指導のやり方に違いがあるように思う。また、同一の場面指導で小学低学年と中学高学年のように年の差がある場合、どのような指導(声かけ)をするのか。職員室でのバランスとコミュニケーションが上手く行かなかった時、子どもたちが混乱しないようにしたい。

・洞爺地区の位置づけをどうするかだと思います。洞爺湖町として、どういう教育を目指すのか、もうそろそろ示す時期が訪れています。

・多くの住民は教育委員会の味方です。

・心配なのは、現時点の中学校移動予定が2年後なので、子供達への説明やどうやって理解してもらうか、そしてスムーズに移動できるように、その前の今からでも子供達や、教職員の小中の交流や意見交換を密にしてほしいです。

・中学校移動に伴い、ギツギツの教室数ではなくて、洞爺湖町の財政も厳しいとは思いますが、思い切った増改築で教室数を増やして欲しいです。

・期待しているのは、今回の説明にもあった、担当教諭の授業が小学生のうちから受けられ、学力向上に繋がってほしいと思います。とりあえず中学校移動だけでなく、最初から小中一貫校にしてほしいです。お願いします。

・虻小に虻中入る事により、施設の改修費が膨大になる。【トイレの便器の大きさ、水飲み場の高さ、体育館の大きさ、体育道具の違い、器具庫の広さ、グラウンドの広さ等】どこまで改修しどこを改修しないのか、事前に確認しないと学童と同じになるのでは？

・中1ギャップの解消

・地域的な要因で小中一貫校と義務教育学校を使い分けることも必要ではないか。

・準備期間を十分にとることが必要

・大滝徳舜警学校の取組、大変参考になりました。義務教育学校のメリットについても十分効果があることもわかりました。虻田小中にあてはめていくと、中学生・小学生の関係性について、現状ではややサイズ感の違いを感じますので、いかにしてファミリー的な関係を築けるかが重要になるかと思えます。

・小学生と中学生の体育館やグラウンドの使い分け

・今ある建物をリノベーションするとした場合、自由に使える教室の確保、職員室の配置場所、収納スペース等、理想的につくれるのかが課題(建て替えが早いが予算大)

・成長が早い現在の子どもたちに対し、専門性の高い教育を受けられることはよい。

・教師は少なくて済むのは理想だが、教師が働く場所がへることへの反発はあるだろう。

5 今後、洞爺湖町の教育を進めるうえで、どのようなことに力を入れていくことが大切だと思いますか。ご記入ください。

・教育の質や専門性の向上

・少子化が進む中、質の高い教育を推進するには、環境整備が必要です。理科や技術の実験観察に関わる道具や木工、金工、畑の機材、家庭科は、被服と調理もあります。校舎が1つになっても揃えないといけないものにも目を向けてほしいものはありますので、お願いいたします。

・町内の学校職員と密接な連携を取って行くことが大切だと思います。

・地元愛(愛着)が持てるような学校生活(時間)を過ごして欲しい。

・大人になって自分の故郷を誇れる、語れる、宣伝出来る教育を願います。

・今回の講演でもありましたが、小3・4年生からの担当教諭の授業とありましたが、大滝では社会、理科でしたが、少し難しくなる小3・4年生の算数にも力を入れてほしいです。宜しくお願いします。

・自律精神を育む

・外国語教育の充実

・義務教育学校の設立を目指す過程で様々な連携、調整が生まれてきますので、具体的な設立計画を早期に示していくことが必要であると感じます。

・部活動の地域移行

・都市部の同学年の子どもに比べて、地方の子どもは教育を受ける権利がプアーだと思う。

・高学年になるにしたがって差は大きくなる一方だと感じる。

・小中一貫教育をすすめていくのであれば、経験者から、もっとデメリットの部分を聞き取り、メリットの方が多くなる様、検証していくのが先にしなければならないことかと思う。